

絶好の富士見コース（東海道自然歩道）足和田山山行報告

【山城】富士山周辺・足和田山（1355m）

【日程と天気】2015年11月3日晴れ

【メンバー】CL菊池・会員外1名

【行程】一本木バス停近くの八幡神社駐車場（無料）→大田和登山口 7:30→見晴岩→8:43
足和田山山頂（五湖台）→三湖台→紅葉台レストハウス→紅葉台→11:30 紅葉台入口バス停→
バス→一本木バス停



三湖台から青木が原樹海・本栖湖・南アルプスを望む

・サンエイムック・「男の隠れ家」ベストシリーズ、人気の「山」特集の保存版、「夏、山へ」を中島書店で9月中旬に手に入れた。パルコの好日山荘は職場から歩いて15分程であり昼食ついでに時々店を覗いてみる。パルコの閉店が来年秋に決定し残念であるが、しばらくは昼休みの散歩がてらに通うであろう。好日山荘の帰りに中島書店によるのも楽しみで、45年ほど前の学生時代に、この千葉銀座界隈を歩いたのが懐かしい。

この保存版には「北アルプスと雲上の山小屋」として白馬山荘・槍ヶ岳山荘・燕山荘・北穂高山荘・唐松岳頂上山荘・蝶ヶ岳ヒュッテが掲載され、山荘の歴史を含めた素晴らしい内容となっている。蝶ヶ岳ヒュッテは夕食のみであったが、その他は宿泊しておりそれぞれの良さを実感している。

この雑誌の中に金時山と足和田山が掲載されていた。どちらも小生にとっては未経験であ

った。マイカーのナンバープレートを 3776 にするほど富士山には入れ込んでおり、山スキー・夏山などで 20 回ほどの山行で登頂は 8 回である。最近体力的に登頂は厳しくなっており周辺の低山ハイクに照準を合わせる方向転換の第一歩として足和田山を選択した。晩秋の雪を頂いた富士山と紅葉の東海道自然歩道に期待して、まさに男二人で撮影山行と洒落こんだ。

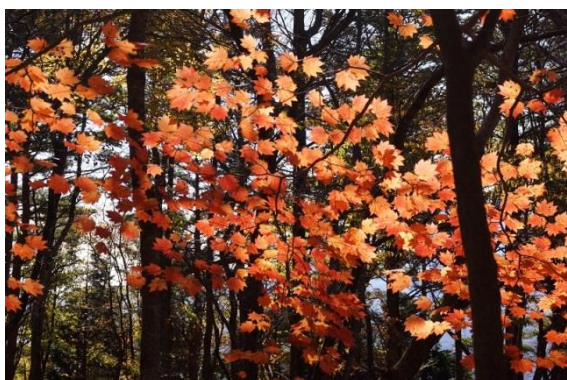
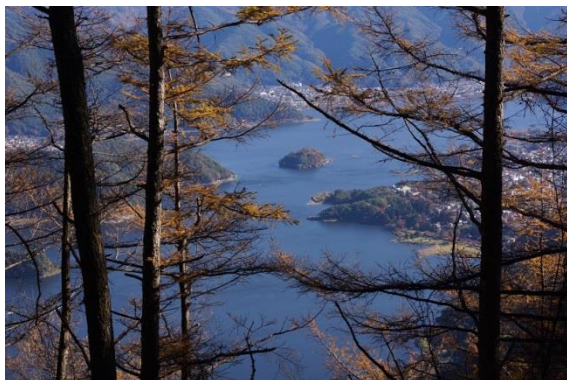
・富士山の山頂付近は前日の降雪で期待通りの雪化粧となっており、河口湖 IC を降りてすぐに早朝の富士山の素晴らしいショットを撮れた。「今日はきっといい写真が撮れるぞ」とテンションは一気に UP した。一本木バス停に向かう途中、迫力の吉田大沢（あそこを 6 月に 2 回、山頂から滑ったのだなあ懐かしい）を望遠で狙い、撮影ハイクは幸先よくスタートできた。大田和登山口（害獣除けの扉がある）から標高差 400m 登るルートはやや急であり、早い時間の入山でもあり、われわれ以外の入山者はなく、静かな男の隠れ家的



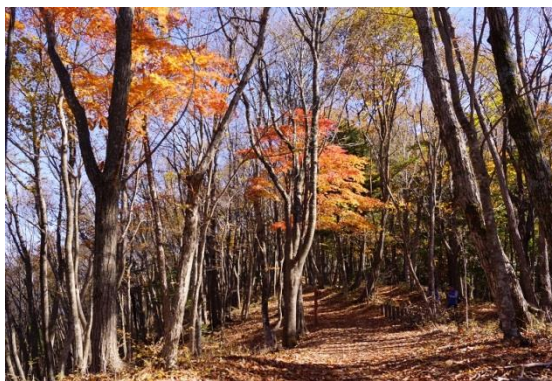
ハイクのスタートにご満悦であった。

・黄色く色ついた広葉樹林の登りは気持ちよく、やや急登であったが、1 時間 15 分ほどで足和田山山頂（五湖台）に到達した。立派な展望台が設置されており黄葉したカラマツ林の間から眼下の河口湖を狙い、反対側にはススキ越しに逆光の富士山を撮影した。ここか

ら先は水平からゆるい下りの歩きやすく広いハイキング道路である。広葉樹の紅葉が素晴



らしく、特に逆光のカエデの紅葉を二人のアマチュアカメラマンは心行くまで撮影できた。徐々に反対方向から（紅葉台から）のハイカーが増え、素晴らしい紅葉林間道に癒されながら、広い三湖台に到着した。素晴らしい展望が広がっており、嬉々としてカメラを構え



た。西湖から鬼ヶ岳方面・広大な青木が原樹海と本栖湖、その向こうに雪を頂いた間ノ岳などの南アルプスが遠望でき、聖岳も同定できた。行動食休憩の後、紅葉台レストハウス（ここまで車で入れる）・紅葉台を經由し、フィナーレは紅葉台入口バス停である。数秒遅れで路線バスに乗り遅れ、30分ほど待って11時54分のバスに乗り、一本木バス停で降りて車を回収した。・富士山その物ばかりに入れ込んでいたため、その周辺のハイキングコースには殆ど興味なかった。体力の衰えとともに、旬の時期での低山ハイクに気が向くようになった。信濃町在住中も、とくに晩秋の頃には足が詭らないように標高1500m以下の低

山に毎年2~3回通うようになった。11月最終週には金時山の予定である。富士山山麓を取り囲む山々も、なかなかよさそうである。近いうちにとりあえず200名山である三つ峠山・毛無山・愛鷹山を狙ってみるか。



